2026年10月5日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,304万kW
14時30分、103,038 MW（10エリア同時刻合計）

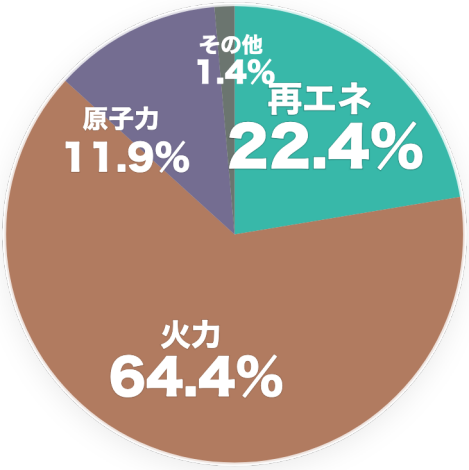
☀ 太陽光ピーク
2,477万kW
12時、24,774 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
180万kW
18時30分、1,801 MW

◇ 再エネ最大需要比
37.1%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
89.0 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
82.2 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 36.1%

28.5 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

24.4 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:00に3,243万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで36.1%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**22.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**470 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,102 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**37.1%**	12時
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**24.4 GWh**	発電構成比には含めない

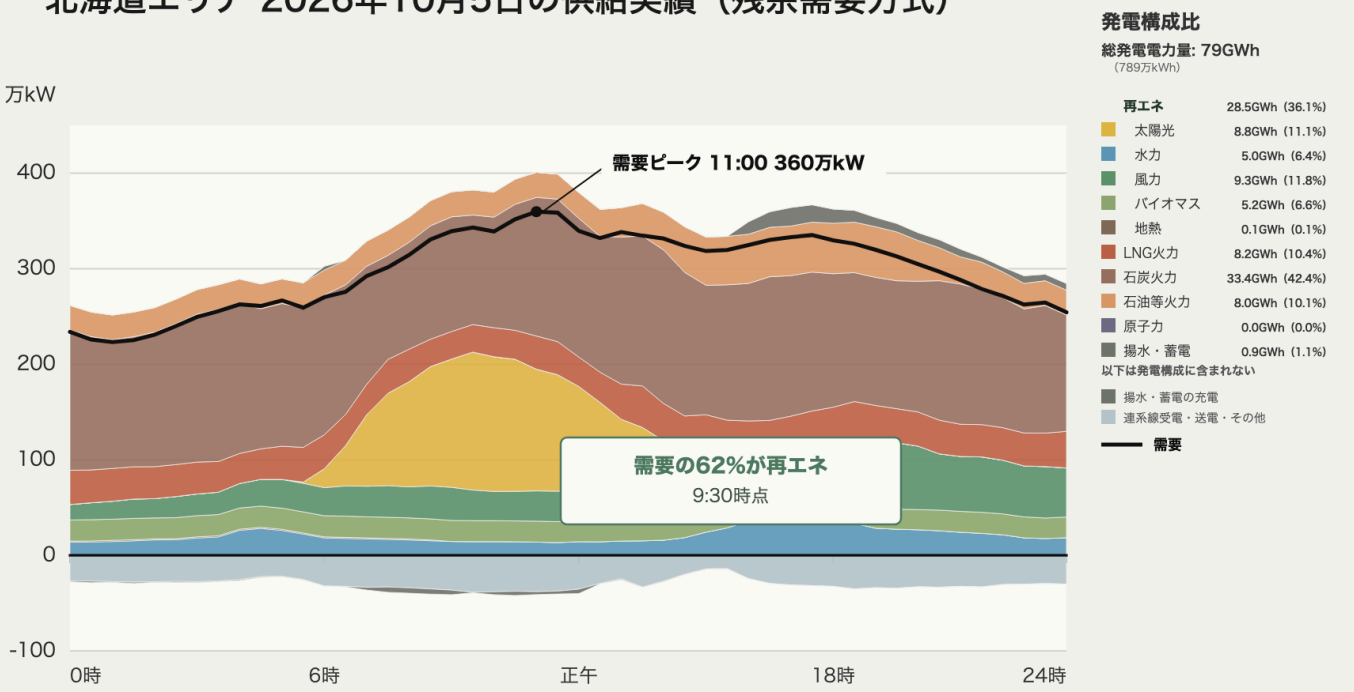
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**36.1%**	**28.5**	**0.0**	**送電 7.2**
東北	**28.2%**	**76.7**	**0.0**	**送電 82.2**
東京	**14.2%**	**81.4**	**0.0**	**受電 89.0**
中部	**28.8%**	**75.4**	**0.0**	**受電 70.0**
北陸	**27.3%**	**20.9**	**0.0**	**送電 10.9**
関西	**17.3%**	**53.0**	**0.0**	**受電 42.7**
中国	**15.7%**	**26.1**	**0.0**	**送電 24.8**
四国	**23.5%**	**21.6**	**0.0**	**送電 30.6**
九州	**33.8%**	**83.9**	**0.0**	**送電 25.6**
沖縄	**10.5%**	**2.9**	**0.0**	—

2026年10月5日の供給実績

北海道エリア

再エネ
28.5GWh
（発電電力量ベース36.1%）

北海道エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
78.9GWh

需要ピーク
11:00、360万kW

連系線・その他
7.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

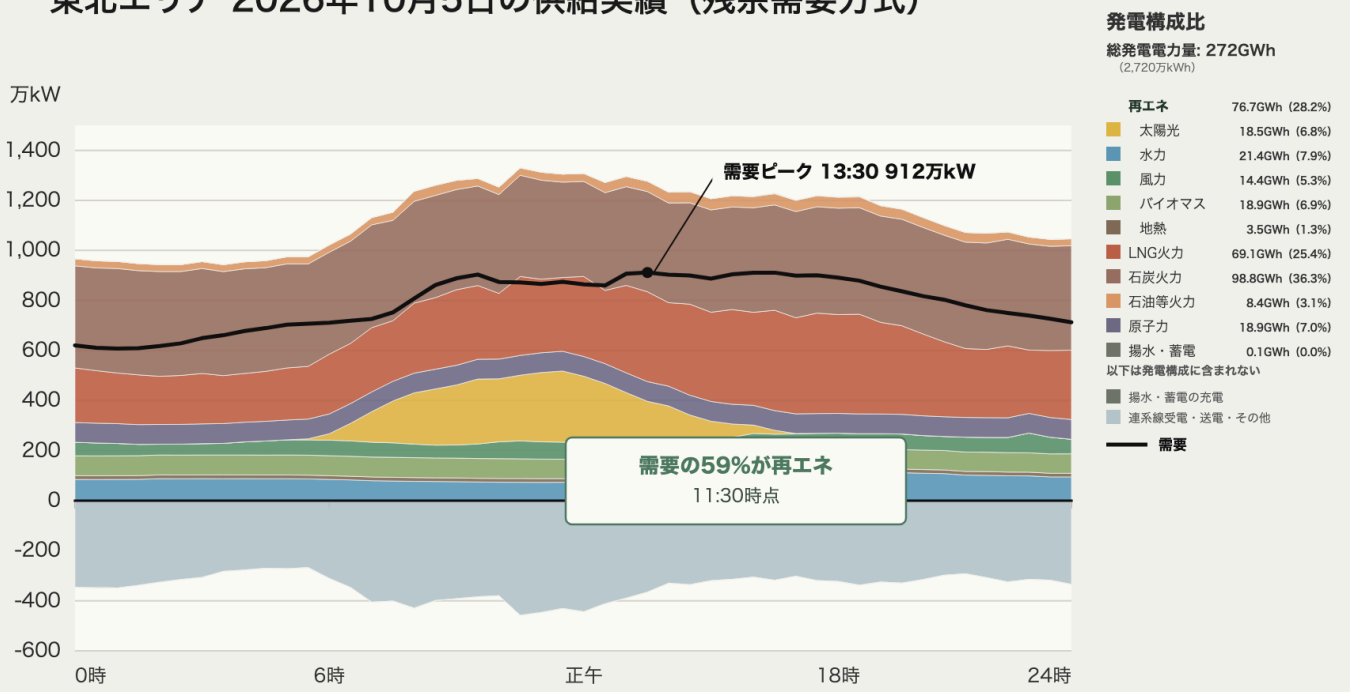
北海道は、太陽光ピーク144万kW、風力ピーク71万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.0%だった。

2026年10月5日の供給実績

東北エリア

再エネ
76.7GWh
（発電電力量ベース28.2%）

東北エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
272.0GWh

需要ピーク
13:30、912万kW

連系線・その他
82.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

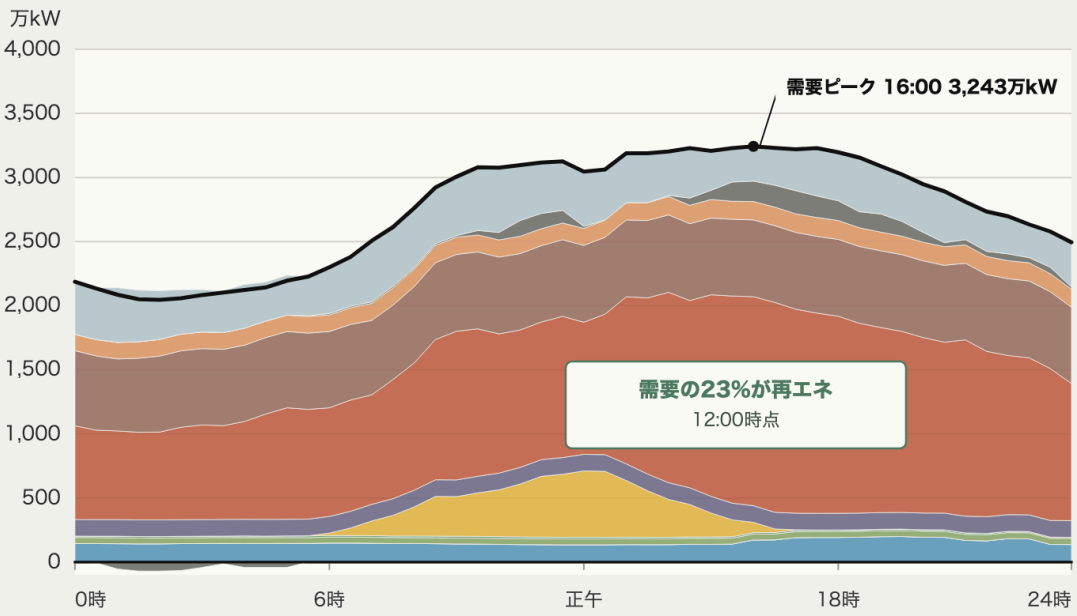
東北は、太陽光ピーク284万kW、風力ピーク79万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.2%だった。

2026年10月5日の供給実績

東京エリア

再エネ
81.4GWh
（発電電力量ベース14.2%）

東京エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 573GWh
（5,730万kWh）

再エネ	81.4GWh (14.2%)
太陽光	30.5GWh (5.3%)
水力	36.9GWh (6.4%)
風力	2.8GWh (0.5%)
バイオマス	11.2GWh (1.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	272.8GWh (47.6%)
石炭火力	142.9GWh (24.9%)
石油等火力	32.8GWh (5.7%)
原子力	31.2GWh (5.4%)
揚水・蓄電	12.0GWh (2.1%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
573.0GWh

需要ピーク
16:00、3,243万kW

連系線・その他
89.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

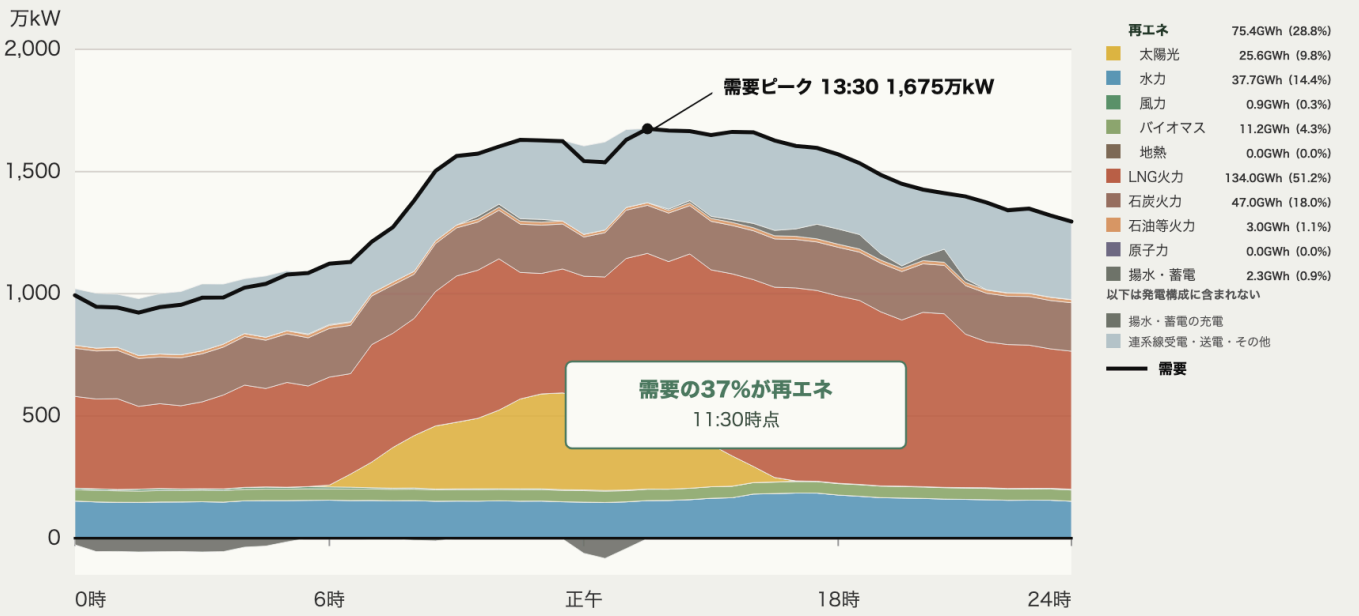
東京は、太陽光ピーク517万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.3%だった。

2026年10月5日の供給実績

中部エリア

再エネ
75.4GWh
（発電電力量ベース28.8%）

中部エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
261.7GWh

需要ピーク
13:30、1,675万kW

連系線・その他
70.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

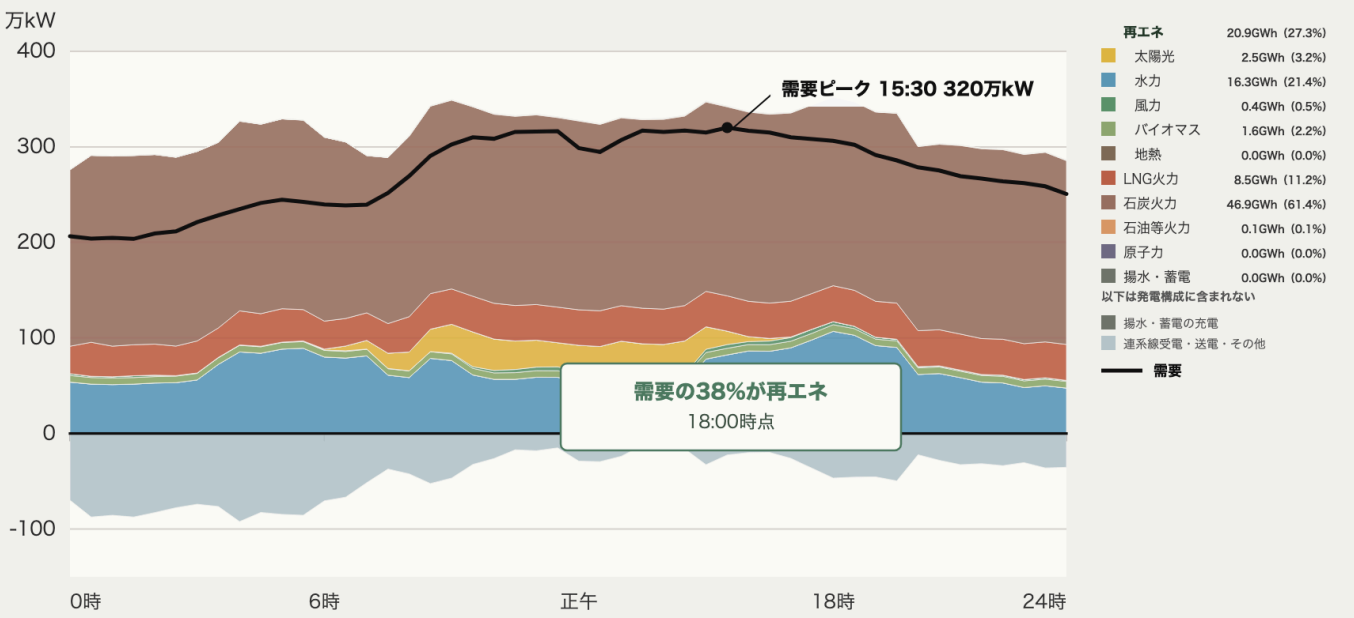
中部は、太陽光ピーク396万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.1%だった。

2026年10月5日の供給実績

北陸エリア

再エネ
20.9GWh
（発電電力量ベース27.3%）

北陸エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.4GWh

需要ピーク
15:30、320万kW

連系線・その他
10.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

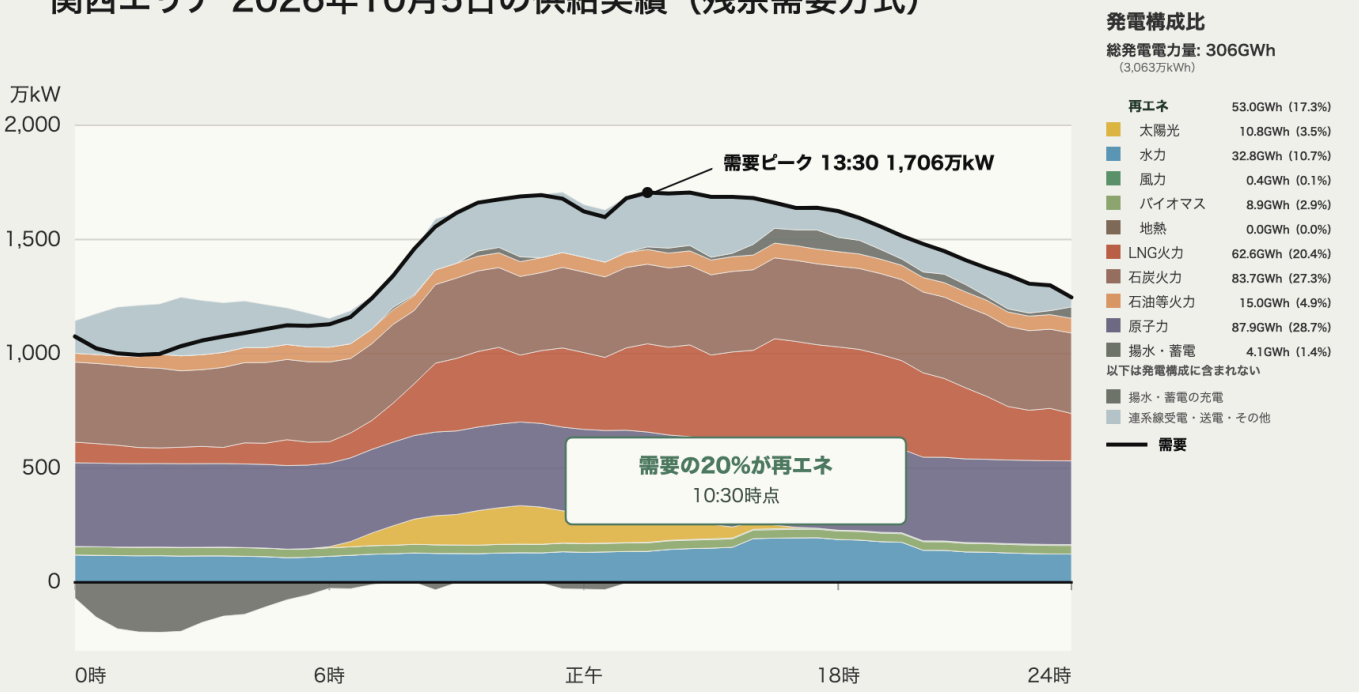
北陸は、太陽光ピーク37万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.7%だった。

2026年10月5日の供給実績

関西エリア

再エネ
53.0GWh
（発電電力量ベース17.3%）

関西エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
306.3GWh

需要ピーク
13:30、1,706万kW

連系線・その他
42.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

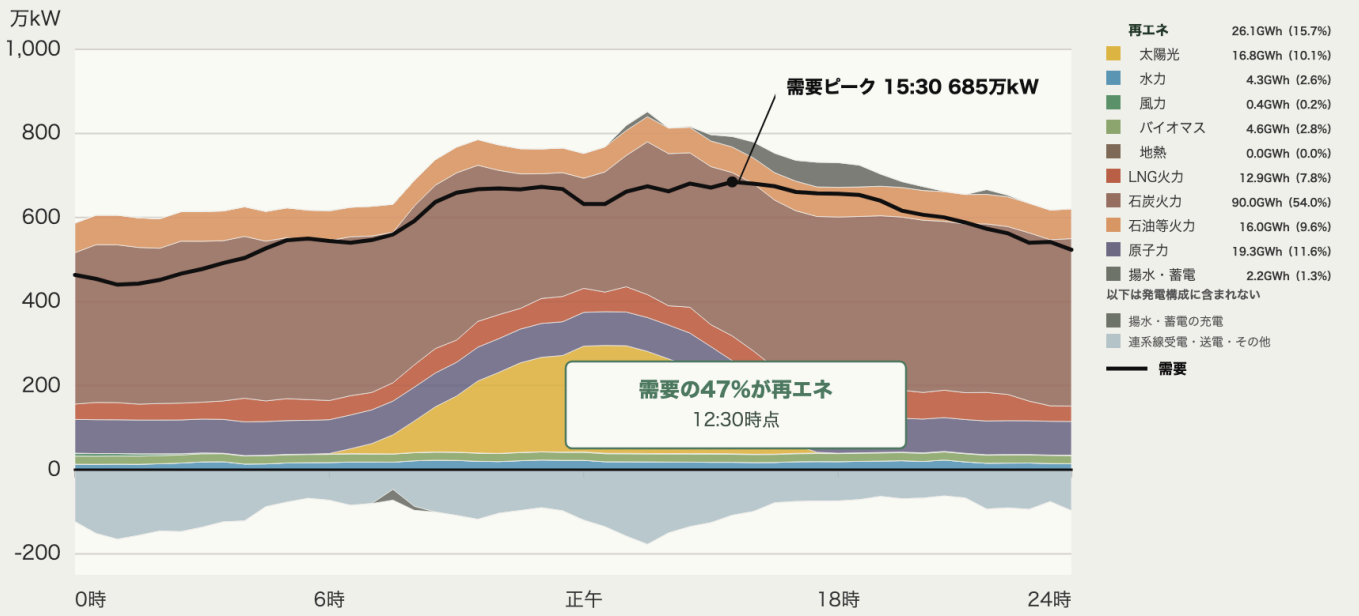
関西は、太陽光ピーク168万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.9%だった。

2026年10月5日の供給実績

中国エリア

再エネ
26.1GWh
（発電電力量ベース15.7%）

中国エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
166.5GWh

需要ピーク
15:30、685万kW

連系線・その他
24.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

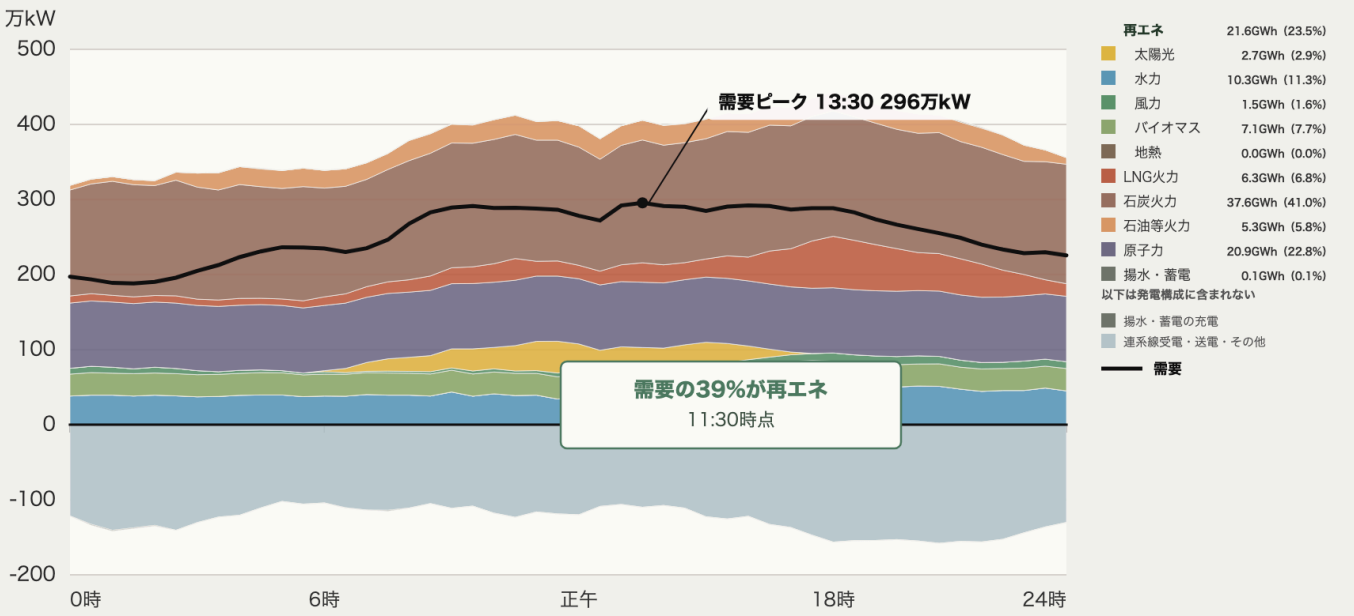
中国は、太陽光ピーク256万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.8%だった。

2026年10月5日の供給実績

四国エリア

再エネ
21.6GWh
（発電電力量ベース23.5%）

四国エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
91.6GWh

需要ピーク
13:30、296万kW

連系線・その他
30.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

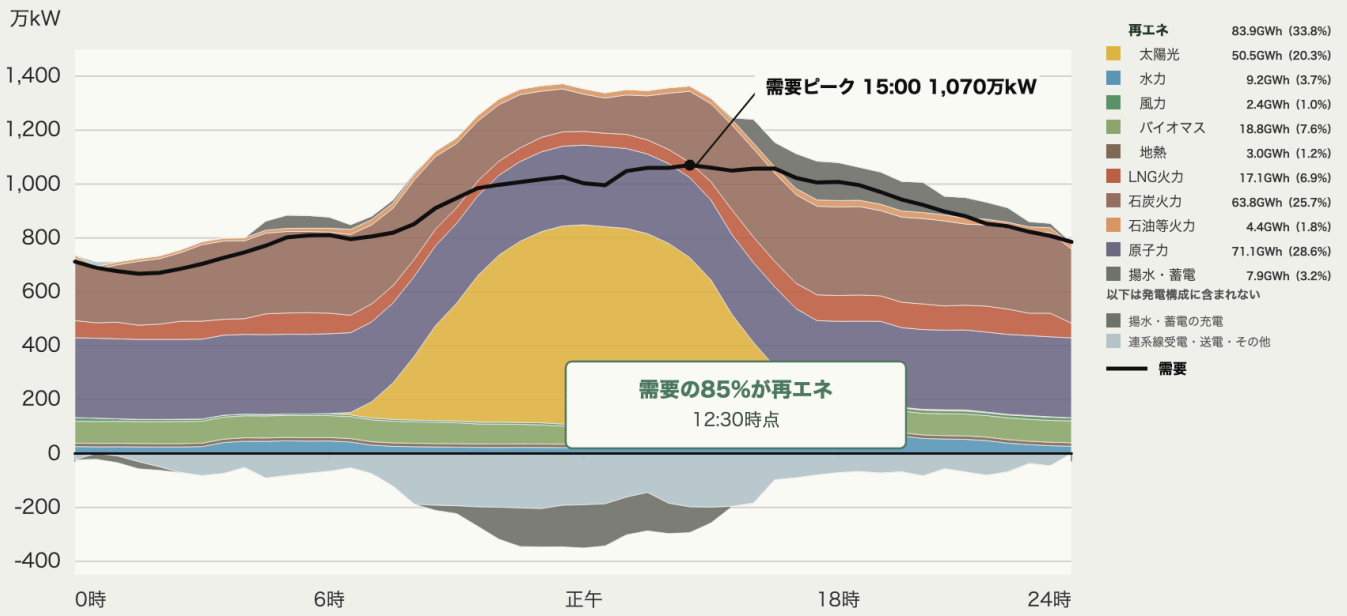
四国は、太陽光ピーク42万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.6%だった。

2026年10月5日の供給実績

九州エリア

再エネ
83.9GWh
（発電電力量ベース33.8%）

九州エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
248.2GWh

需要ピーク
15:00、1,070万kW

連系線・その他
25.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

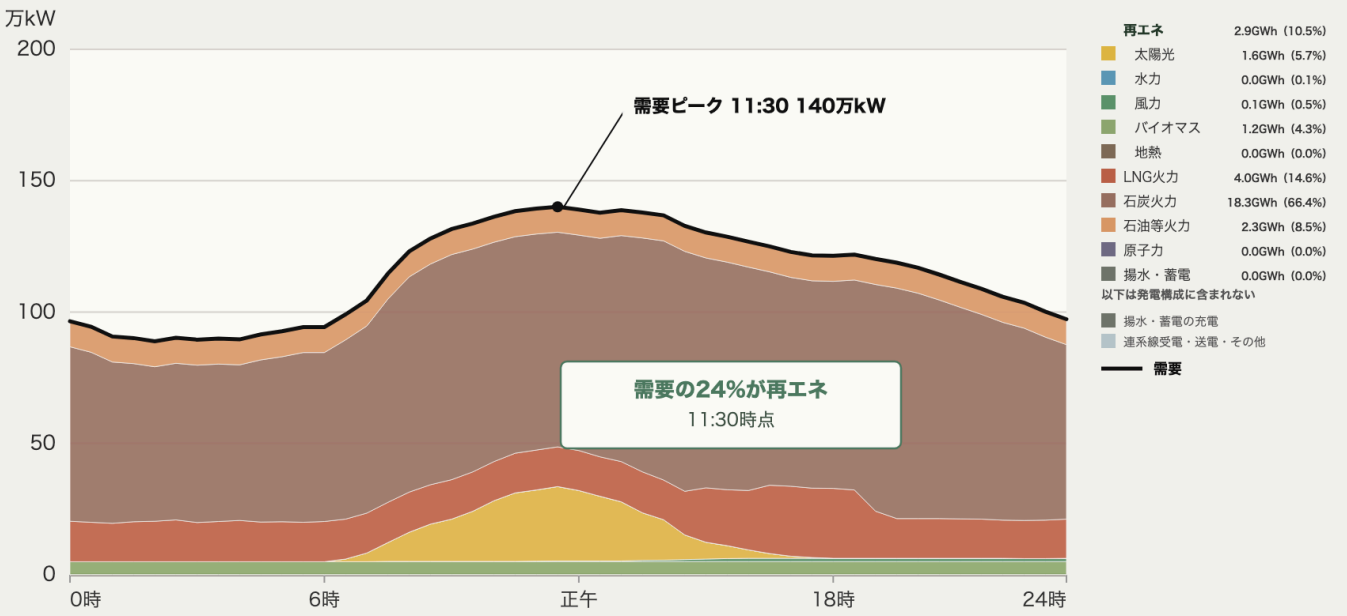
九州は、太陽光ピーク741万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.7%だった。

2026年10月5日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.9GWh
（発電電力量ベース10.5%）

沖縄エリア 2026年10月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
27.5GWh

需要ピーク
11:30、140万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.0%だった。